

漁況予報 い わ し

第 2 2 3 号

【2021年1～2月漁期】

※1 平年：過去5年平均

※2 被鱗体長：口先から尾ビレの付け根までの長さ

= 概 況 =

【マイワシ】

主要定置網における 11 月のマイワシ総漁獲量は、1.5 トンで前年（3.1 トン）及び平年^{※1}（2.8 トン）を下回りました。12 月は 241 kg で平年（214kg）並みとなりました。

なお、まき網は、11 月、12 月ともに水揚げはありませんでした。

魚体は、11～13cm（被鱗体長^{※2}、以下同）の 0 歳魚（2020 年生まれ）主体であったと考えられます。

【2020 年概況】神奈川県における 2020 年のマイワシ総漁獲量は、主要定置網 811 トン、まき網 0 トンの合計 811 トンで、前年（1,038 トン）および平年（1,369 トン）を下回りました。3～4 月に中～大羽イワシのまとまった来遊があったものの、夏季以降に 0 歳魚（2020 年級群）の漁獲量が伸びませんでした。マイワシ太平洋系群は加入量の良好な状況が続いており、今後の本県沿岸への更なる来遊に期待したいところです。

【カタクチイワシ】

主要定置網における 11 月のカタクチイワシ総漁獲量は 1.2 トンで、不漁であった前年（0.4 トン）及び平年（1.3 トン）並みとなりました。12 月はまとまった漁獲がありませんでした。

【2020 年概況】神奈川県における 2020 年のカタクチイワシ総漁獲量は、主要定置網 316 トン、まき網 48 トンの合計 364 トンであり、前年（215 トン）は上回りましたが、平年（1,727 トン）を大きく下回りました。多くの月で来遊量が平年を下回る水準で推移し、9 月以降はほとんど漁獲がなくなりました。国等の資源量調査結果によると沖合海域における分布量は確実に減少しているとされており。

【シラス】

前年同様に夏シラス漁の落ち込みはなく、10 月にも好漁があった相模湾のシラス漁は、11 月以降、コロナ感染症の影響による需要の低下も影響し、漁場にシラスはいるものの、1, 2 回の操業で帰港するといった動きも見られました。その結果、11 月は前年、平年並み（前年比 1.2 倍、平年比 1.0 倍）。12 月も前年、平年をやや上回る漁模様（前年比 1.2 倍、平年比 1.3 倍）で終漁を迎えました。

【2020 年概況】神奈川県における 2020 年のシラス漁獲量（標本船データからの推定値）は、前年、平年を上回る 467 トンとなりました（前年比 1.4 倍、平年比 1.3 倍）。解

禁直後は全域で好調なスタートを切りましたが、その後漁場は湾奥部に限定的に形成され、6月には近年にない大漁となりました。その後は全域で8、10月と隔月に好漁がありました。夏シラスの大きな落ち込みは見られず、秋以降は前述のような獲り控えも見られるなど、近年では好調な漁模様となりました。

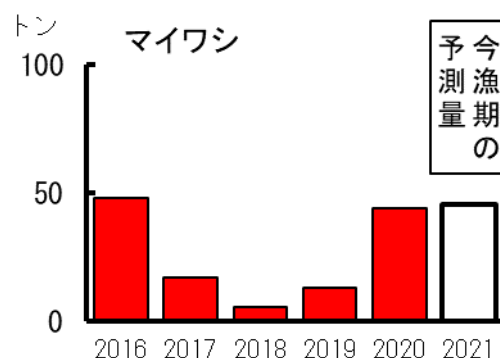
= 予 報 =

【マイワシ】

今漁期は、2020年生まれの中羽マイワシ(12~14cm)が漁獲の主体となるでしょう。

マイワシ太平洋系群が前年に引き続き高水準であることから、今漁期の漁獲量は、前年並みの約45トンと予測されます。

過去5年の1・2月漁期の漁獲量と今漁期の予測量

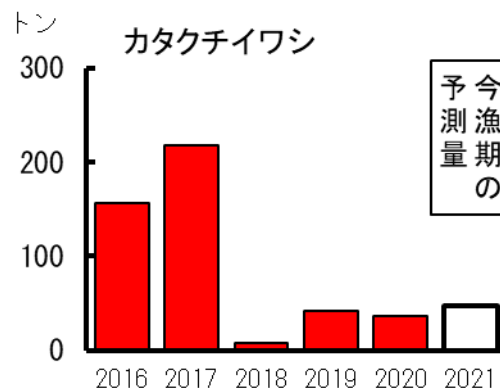


※グラフ縦軸：主要定置網+まき網

【カタクチイワシ】

今漁期は、未成魚(7~8cm)及び小型成魚(9~10cm)が漁獲の主体となり、沖合海域から来遊する大型成魚(12~14cm)が僅かに混じるでしょう。

前年同期同様、親潮の南下勢力が弱いため来遊量は伸びないでしょう。今漁期の漁獲量は、低水準ながら前年を上回る約47トンと予測されます。



※グラフ縦軸：主要定置網+まき網

【シラス】

神奈川県の上りシラスは1月1日から3月10日まで禁漁です。例年ですと、当センターでは神奈川県上りシラス船曳網漁業連絡協議会の協力により、1~3月に禁漁期調査を実施し、調査の状況を次号で報告するところですが、新型コロナウイルスの影響により、1月に予定していた調査は見合わせる事となりました。2月以降に調査実施の場合は、協議会を通じてその結果をお知らせするようにします。

神奈川県水産技術センター栽培推進部
三浦市三崎町城ヶ島 (046)882-2314